

横浜翠嵐高校

データ A:B:C:D比 2:6:2:2 / 時間 60分 / 配点 200点 / 観点：理解分析力・思考判断力・表現構成力・想像力
 2018年度募集定員：358名 / 2018年度志願者数：777名 / 2018年度志願競争率：2.17倍

幅広い題材を用いた作業と読解の難問群

□問題の概要

前半は作業重視のパズル・後半は幅広い読解

課題1：「システム設計」に関する文章を読みます。「トレードオフ」「フェールプルーフ」「フェイルセーフ」などの外来語があり、これらを軸に設問が並びます。最後に英文読解です。手順の組み立てや内容の正誤判定が中心で、英語以外にはほぼ知識を求めない「パズル」的問題群です。

課題2：「立憲主義」の文章読解です。主に正誤判定で、文意をつかみ、具体的にイメージできる力を求めます。

課題3：「植物の成功戦略」に関する文章を読みます。設問は仮説、データ読み取り、英語の小作文です。

課題1は、作業して組み立てる「作業」の正確が強く、課題2・3はほぼ全てが広い意味での読解問題です。

□設問の特徴

全方位的な読解（理解）力・作業力・説明力を要求

情報量が多く、処理がたいへんです。速さと正確さは必須です。

「速く」といっても、表面的にざっと読んだだけで解答するのは危険です。初めての情報が次々と現れますので、頭を切り替えながらよく整理しなければいけません。

今年示された主な課題を3つ示します。

- 1 具体と抽象を行き来できる読解力（選択問題に多い）
- 2 情報の精密な把握力と作業力（課題1に多い）
- 3 短時間に簡潔に説明する要約力（各所に分布）

「設問や資料を精密に徹底して読み込むこと」を強く求めます。

□昨年との比較

やや易化：難しさの傾向に変化があるので要注意

難解で抽象的な内容が減り、「何をすべきか」イメージしやすくなりました。また、選択問題が過半数になったこと、「複数の説明」タイプの設問がないことも解きやすい印象を与えます。

ただし、難しさの傾向が「理解困難」から、「まとめにくい・整理しにくい」に変わった面があり、困惑した受験者もいたはず。県下の難問に変わりはありません。なお、英語のボリュームが拡大し、「単語集」が復活しました。

□課題と対策

精密読解力＋説明力＋速度

情報を精密に読んで、判断・説明することが課題です。

選択肢の間の差異が微妙でわかりにくいケースや「解答が書きにくい」ケースも多いので、精密さは不可欠です。

相変わらず素材は多様なので、学習でも日常生活でも、たくさんものごとに関心をもち「疑問と探求」を数多く体験することです。また、複雑な情報処理の難問を多く解くこともおすすめします。

■2018年度 設問一覧

大設問	設問	形式	使用教科
課題1	設問1問1	計算	数
	設問1問2	選択	数論
	設問1問3	説明	数論
課題2	設問2	選択	国
	設問3	説明	国理
	設問4	選択	英
	設問1	選択	国社
課題3	設問2	選択	国社
	設問3問1	説明	国社
	設問3問2	説明	国
課題3	設問1	説明	理
	設問2	記号	数理
	設問3	説明	英

□参考 2017年度 設問一覧

大設問	設問	形式	使用教科
課題1	設問1問1	計算	数
	設問1問2	計算	数
	設問2	選択	数社
	設問3	選択	国
	設問4	説明	社
課題2	設問5	記述	英
	設問1	説明	数国
	設問2問1	選択	数理
	設問2問2	説明	数理
	設問3	説明	数論
課題3	設問4	選択	英国
	設問5	説明	数

★設問形式は、次のように分類しています。選択・記述・計算・作図・説明（英作文を含む）・論述。使用教科の「論」は、特定の教科と直接関わらない論理で解決することを意味します。

■代表的な問題と湘ゼミの対策例 ①

課題 1 設問 2 (ほかにも複数) フェイルセーフに該当する具体例を選ぶ
 抽象的な説明語句を理解し、その具体的な事例を正しく選ぶ

□「特色検査模試」の出題 (文章省略)

「ナッシュ均衡 (説明省略)」に陥ったとはいえない状態を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア となりどうしの家電量販店が、同じ商品の価格設定で迷っている。どちらもできるだけ高い価格で売りたいのだが、競争相手に値下げされたら不利になる。そのため、どちらも不本意ながら相手と同じレベルまで価格を下げざるを得ない。
- イ 核兵器保有国のいくつかは、核兵器削減の条約に参加するなどの動きを見せている。率先して完全に廃棄してしまうのが最も賢明な方法という説もある。核兵器を保有して維持するのは大きな費用がかかるためである。しかし、仮に全保有国が一斉に廃棄したとしても、どこかの国が秘密のうちに再保有した場合、自国が大いに不利になってしまうのは確実である。このような事情から核廃絶が困難と言われる。
- ウ 家電量販店では、「他店よりも 1 円でも高ければ値下げします」といった広告がよく目につく。これは、価格の値下げ競争を激しくするものではなく、それに歯止めをかけるものとして、導入された。なぜならば、どの店舗の価格もまったく同じであれば、値下げをする必要がなくなるからである。
- エ 関係のよくない 2 つの国が湖をはさんでいる。どちらも湖から生活用水をくみ取り、湖に排水している。両国は、湖の水質悪化を止めるために、浄化設備の設置について話し合っている。様々な理由から協議はなかなか進まない。環境改善を考えれば、どちらかの国だけでも設備を導入すればよい。しかし、費用負担が大きい上、導入しない側の国が経済的・軍事的に優位に立つことを考えると、自国だけで環境改善に取りくむ決断はできない。

□「特色検査模試」の出題 (文章省略)

日本国憲法第 26 条の内容にもとづく具体的な政策やきまりなどとしてふさわしいものを、次のア～エの中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 小中高校および大学を新たに設立するためには文部科学省の認可を受けなければならない。
- イ 小学校および中学校の教科書は、無償で提供されており、書店で買い求める必要はない。
- ウ 2014 年から高校の授業料について、世帯の所得が高い場合には無償化が適用できなくなった。
- エ 心身に障害をもつ子どものために、個々人の事情に応じた学校が設立されている。

■代表的な問題と湘ゼミの対策例 ②

課題 2 設問 3 ある文の内容が、課題文とかみ合わない理由を、課題文に即して説明する

□「横浜翠嵐高校特色検査模試」の出題 (文章の一部のみ掲載・解答欄省略)

下線部④ どんなに偉(えら)い科学者であっても、一人で主張しているうちは「正しい」わけではない。逆に、名もない素人が見つけたものでも、それを他者が認めれば科学的に注目され、④もっと多数が確認すれば、科学的に正しいものとなる。

下線部⑥ (僕は)⑥「大勢が同じことを主張しているから正しい」「有名な人が言っていることだから正しい」ということはない、と考えているからだ。

設問 下線部④と下線部⑥は、一見すると矛盾することが述べられているように見えるが、著者の考えにおいて両者は矛盾することなく成り立っている。この理由を、解答欄を補うように説明しなさい。

■代表的な問題と湘ゼミの対策例 ③

課題3 設問2 植物の適応についての説明文の空欄にあてはまる語およびグラフを選ぶ

□「横浜翠嵐高校特色検査模試」の出題

著者は、同書の別の箇所で、「原因結果的にものを考えるということが、科学の眼の一つなのである。」と記している。これは、「ものごとには必ず原因があるからそれを突き止める」という意味ではなく「連続するものごとを、ばらばらにつかむのではなく、原因と結果の流れから見て考える」と書かれている。では、次の資料を同じような視点から見た上で、富士山の山頂では上手に米を炊くことができない理由を説明しなさい。

図1 高度と大気圧の関係

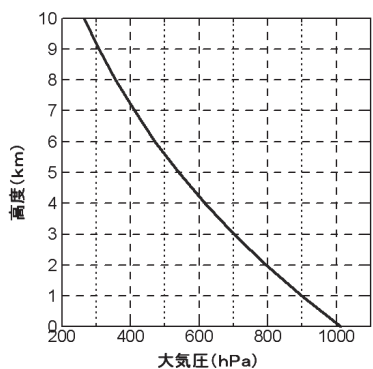


図2 温度と飽和蒸気圧の関係

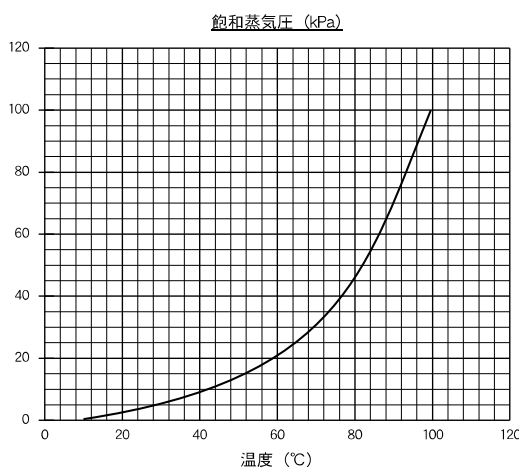


図3 炊飯の一般的な手順と注意点

